

学校教育目標 「ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生きる子」

子供たちが意識していくキーワード 「できた 分かった 頑張った」

気田愛育会実践目標「深めよう 家族の絆（6年次）」



すみれの丘

気田小学校
学校だより
3月号



～ 校長先生から子供たちへ（修了式より） ～

今日で、長かった令和6年度が終わります。みなさん、この1年はどうでしたか？それぞれが、どんな学年だったのでしょうか。そして、自分なりに「できた」「分かった」「頑張った」と言え、楽しい学校生活を送れましたか？

私はこの1年間のみなさんの様子を見て、「できた」「分かった」「頑張った」と胸を張って言えるのではないかなと思いました。そんなみなさんを、私はとても立派な気田っ子たちだと誇りに思います。

そこで、私からみなさんにもっともっと素晴らしい気田っ子になってもらうためにお話をします。それは、「一生懸命やる」とことと「努力する」とことは同じように感じるけど違うという話です。

例えば「できるようになったこと」を頑張ってやることは「一生懸命やっている」とことになりませんが、私は「努力している」とことにはならないと思います。

「努力している」とはこのできるようになったところから、さらに次にできるようになるまでを「努力している」というのではないかなと私は思います。

この次のことができるようになるまでの間は、「苦しいこと」「辛いこと」「嫌なこと」があります。でも、そこから逃げていたら次にできることができないようになります。「勉強が嫌い」「運動が苦手」「学校が嫌」その気持ちに負けないでください。自分の弱い心に負けたら素敵な気田っ子、さらに素敵な大人には絶対になれません。

私は6年生に「全力の失敗は恥ずかしくないから胸を張れ」と話しました。全力で取り組んで失敗することより、やる前から逃げてしまうことは、どんなことよりも恥ずかしいことだと私は思います。

4月からは次の学年となります。「嫌なこと」「苦手なこと」「嫌いなこと」から逃げずに、あきらめずに粘り強く取り組んで、素敵な気田っ子に成長して行ってください。

【「小学校交通事故ゼロチャレンジ」優秀校に決定】

児童の交通安全意識の高揚を図ることを目的とした「小学校交通事故ゼロチャレンジ」において、気田小学校が優秀校として選ばれました。3月6日（木）、気田小学校の校長室において、春野支所長の尾畑様より賞状と楯をいただきました。



【「6年生を送る会」で、6年生に感謝の気持ちを伝えました！】

3月5日(水)、体育館にて「6年生を送る会」を開催しました。各学年で出しものを考え、群読やクイズを発表したり、みんなでゲームをしたりしました。在校生からの感謝の気持ちが伝わった感動的な会になりました。



【1年生】

言葉ならべゲームやクイズをしました。



【2年生】

6年生についてのクイズをしました。



【3年生】

6年生への想いを群読で表現しました。



【4年生】

6年生の似顔絵をプレゼントしました。



【5年生】

6年生を送る会の司会を務めました。



【6年生】

会のお礼にハンドベルを演奏しました。



在校生から、寄せ書きをした色紙のプレゼントをもらいました。



6年生からは、手作りキーホルダーを全員にプレゼントしました。

